

1 基本情報						
施設名又はグループ名		指定管理者名及び団体概要				
都市部の公園・南部グループ		(指定管理者名)東京南部パークスグループ (団体の概要)公益財団法人東京都公園協会が日比谷公園ほか5公園を、大星ビル管理株式会社及び株式会社共立が日比谷公園大音楽堂を共同事業体として管理する。				
指定期間						
H28.4.1 ～ R5.3.31(7年間)						
2 施設名		3 収支(単位:千円)				
日比谷公園・芝公園・青山公園・林試の森公園・蘆花恒春園・祖師谷公園・日比谷公園大音楽堂	項目		令和3年度	令和2年度	公園別支出額	
	金額		金額	金額		
	収入計		729,138	717,398	日比谷公園:199,569	芝公園:141,131
	内	指定管理料	729,138	717,398	青山公園:42,996	林試の森公園:95,487
	別	利用料金	0	0	蘆花恒春園:87,020	祖師谷公園:94,259
支出計		725,339	714,543	日比谷公園大音楽堂:64,877		
収支差		3,799	2,855			
4 管理運営の概要						
基本理念「歴史・文化・時代をつなぐレガシーパークの創造」						
①歴史や文化を伝えるみどり豊かな風格ある公園づくり HPやSNSで拡散されるような魅力的な景観を創出		②多様な主体とのパートナーシップによる公園と地域の魅力アップ コーディネーターとしてエリアマネジメントを推進		③公園のポテンシャルを活かした多彩な千客万来プロジェクトの展開 心地よい時間を過ごせるサードプレイスを創出		
④災害対応力の強化と不適正利用の防止による安全・安心・快適性の向上 気候変動に伴う極端気象に対応し、酷暑時の避暑空間を創出、			⑤東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツライフの充実と開催に向けた万全な準備 ダイバーシティの浸透に応え、誰もが参加できるソフトコンテンツの展開や			
5 管理状況（維持管理）						
○パークビュースポットとしての魅力を高めるため、グループ内職員による共同作業を実施し、日比谷公園の雲形池周辺、芝公園のみみじ谷や芝丸山古墳、祖師谷公園仙川沿いなどでの集中的植栽管理、高所作業車などを使用した高木手入れなどを実施し、景観の維持・向上を進めるとともに、作業を通じた技術の向上や蓄積が図れました。 ○ベンチ、サイン、遊器具消耗部材交換などの予防保全的補修や段差解消など、だれにも優しい施設提供を継続して実施しました。計画的な施設補修により安全性のさらなる向上、施設の長寿命化も推進しました。 ○地域遺産の継承として日比谷公園江戸系ツツジ、首賭けイチョウ、芝公園戦災イチョウ、蘆花恒春園コナラ・クヌギ雑木群の景観など歴史的樹木・景観の後継木育成・保全を継続するとともに、都内で被害が拡大しているナラ枯れの防除、拡大防止に努めました。 ○日比谷公園霞門・雲形池周辺にユリによる景観「ユリロード」を継続し、利用者に花による憩い、やすらぎを提供しました。 ○2020大会開催に合わせ、日比谷公園日比谷門・有楽門での花装飾展示や、芝公園に作庭された「おもてなしの庭」などを通じ、大会期間中の雰囲気づくりを行いました。						
6 利用者アンケート結果						
実施方法：【公園】公園内で調査票を配布・回収／QRコード掲示によるWEBアンケート 【大音楽堂】利用団体に調査票を配付・回収						
施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の対応	
日比谷公園	4.8	4.8	4.6	4.8	4.7	
芝公園	4.7	4.6	4.3	4.6	4.6	
青山公園	4.7	4.6	4.4	4.8	4.7	
林試の森公園	4.7	4.5	4.5	4.7	4.7	
蘆花恒春園	4.8	4.9	4.5	4.7	4.7	
祖師谷公園	4.6	4.6	4.2	4.5	4.7	
日比谷公園大音楽堂	4.7	-	4.6	4.6	4.8	
7 入園者数の状況（単位：人）						
施設名	当該年度	分析				
日比谷公園	2,181,280	外出自粛、周辺企業のテレワークの推進、大規模占用許可イベントの中止等により、前年度並みの推移となりました。				
芝公園	1,066,186	上期はスポーツ施設使用中止の影響を受けましたが、下期はイベント等を再開し、前年より9%増加しました。				
青山公園	401,093	東京2020大会関係者用駐車場として多目的広場を使用中止した影響を受け、前年度より6%減少しました。				
林試の森公園	3,144,808	前年度の大幅増加に引き続き、ジャブジャブ池の利用再開を始め公園の様々な取組が好評で、前年度より4%増加しました。				
蘆花恒春園	909,453	イベント中止の影響を受けましたが、コロナ禍に伴う近隣公園需要の高まりを受け、前年度並みとなりました。				
祖師谷公園	1,150,328	スポーツ施設等の使用中止による影響を受けましたが、下期は遠足等での利用が再開し、前年度より4%増加しました。				
日比谷公園大音楽堂	67,418	コロナ禍および東京2020大会の影響を受けましたが、3月の利用拡大施行により前年度より357%増加しました。				
合計	8,920,566					

日比谷公園

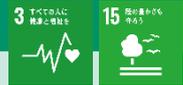
所在地：千代田区／開園面積：16.16ha



まちと公園を「つなぐ」
歴史・文化を「つなぐ」
日本を代表する都市公園の存在感

まちと公園を、まちや公園に集う人をつなぐ取組

事業計画 No.3-②-77、102、38、62 No.4-イ-6、自-7、都-1／評価区分 20、21、22、23、30



まちとつながる「HIBIYAPARK SHIBAFU TERRACE」開催

「日比谷公園で過ごす“豊かな時間”」をテーマに第二花壇芝生地にてテラス空間を創出、会場内限定フォトスポットでのSNS投稿キャンペーン等安心感あるプログラムを展開し、2日間で1,389人の方に来場いただきました。

また、エリアマネジメント団体の日比谷エリアマネジメント主催イベント「HIBIYA STREET TERRACE（日比谷仲通り）」と同日開催、ポスター相互掲示、イベント名やロゴ統一等にて連携、再生整備後の日比谷公園使われ方イメージ「まちとのつながり」を先駆けて具現化させました。



思い思いの時間を過ごせる居心地よい空間を創出



HIBIYA STREET TERRACEと互いの会場でポスターを掲示等の連携

まちを花で彩る「HIBIYA BLOSSOM in HIBIYAPARK」

東京ミッドタウン日比谷が展開する、日比谷の街を花で彩るイベント「HIBIYA BLOSSOM」に参加、キャンペーン連携を図りました。園内チューリップ花壇にキャンペーンサイン等で装飾した特設フォトスポットを設置、街の花景観のひとつとしてPRを図りました。



街とのキャンペーン連携で映えスポット創出

まちの活性化に向けて「日比谷公園パークミーティング」

18の近隣企業・団体出席にて開催、日比谷公園が街の活性化に貢献できる取組を提案、意見交換を図りました。また、コロナ禍における公園の利用状況の特別講演や日比谷公園再生整備計画の共有等街の活性化に向けての連携を促進しました。



特別講演はZOOMにて実施

日比谷公園から生配信！「日比谷音楽祭2021」

フリーでボーダーレスな音楽イベント「日比谷音楽祭」。今回は、第二花壇等の本会場からの無観客オンライン開催とし、日比谷公園にて開催する音楽イベントの主旨を一貫させました。配信は150,000人、517,000回視聴され、日比谷公園の存在感を示しました。



第二花壇「KADANステージ」

積み重ねてきた歴史を次世代につなぐ取組

事業計画 No.3-②-49、103、106 No.4-イ-3、自-1、2/評価区分 20、23



クラシック演奏と特別カラーライトアップ演出による日比谷公会堂PR動画を配信！

日比谷公会堂の歴史的価値の発信を目的に、特別カラーにてライトアップされた公会堂を背景としたクラシックコンサート動画を制作、公園協会公式YouTubeチャンネルにて配信しました。配信後2か月の3月末時点で800回を超える視聴を記録、休館中である日比谷公会堂の歴史的価値のPRを図りました。

また、配信期間に合わせて日比谷公会堂特別カラーライトアップを実施、オンラインとリアルでの連動PRにてその存在感を示しました。



立体感を醸し出すカラーと可愛いパステルカラーの2種類にて演出

謎解きしながら歴史を知る！スマホアプリ「日比谷公園 歴史ミステリー」リリース

公園協会公式スマホアプリ内に公園の歴史の謎解きをしながら園内を巡るセルフガイドコンテンツ「日比谷公園歴史ミステリー」をリリースしました。リリース後5か月の3月末時点で1,300人を超える方々が参加、ヤングファミリー等若い世代にリーチし、日比谷公園の歴史的、文化的価値への関心を高められました。

また、霞が関駅、日比谷駅にポスターを掲示、パークMTGメンバーである東京メトロとの連携も推進しました。



アプリでスポットに誘導



誘導先に謎解き看板を設置

メディア露出を意識した効果的な広報

事業計画 No.3-②-61/評価区分 21



2年目となるビュースポット「ユリロード」のPRはツイッターにてタイムリーかつ効果的なツイートや動画訴求等の広報を展開、見頃（6月）1か月の1ツイート平均imp数は前年比1.9倍の平均9,922impと関心の高まりが数値でも現れました。

朝の情報番組での放送、大手ネットニュースへの掲載に繋げ、問合せは100件を超える大きな反響があり、夏のビュースポットとしてさらなる定着を図り、日比谷公園のプレゼンスを高めました。



各品種の開花状況をタイムリーに発信

東京2020大会に関する様々な取組への貢献

事業計画 No.3-②-122、③-102/評価区分 32

シンボル園芸装飾等東京2020大会関連の園内の様々な取組では、多くの関係者への的確な情報提供等にて円滑に進行させその成功に大きく貢献するとともに、日比谷公園としては独自に日比谷門、有楽門に大規模園芸装飾を実施し大会を彩りました。

また、新型コロナウイルス感染症モニタリング検査、警察車両の駐車等大会期間と重なる他の園地利用においても支障なく進行できるよう関係者に対しきめ細やかな調整を図りました。



日比谷門に設置した大規模ハンギングバスケット装飾

芝公園

所在地：港区／開園面積：12.25ha

歴史と緑で首都東京を彩る 見どころ満載の公園



新しい日常、新たな手法で公園の魅力再発見

事業計画 No.3-②-107、112、③-21 No.4-自-2、3／評価区分 23



東京タワーのふもとで、星に願いを★

非接触型の電視観望方式を導入し、**コロナ禍でも安心して楽しめる**少人数単位の星空観望会を実施しました。小さなお子様から年輩の方まで「**都心でも美しい星が見られた！**」という驚きと発見を体感していただきました。また、もみじ谷のライトアップと同日開催とし、普段は味わえない**公園の夜の空間をつなぎ、芝公園の秋の魅力もあわせて提供**することでより満足度が高まり、参加者から好評をいただきました。

いにしへの景勝・もみじ谷に再び光を

令和2年に再生した「**もみじ谷**」を**ライトアップ**し、東京タワーの夜景とあわせ、観光名所として復活させることができました。日頃より紅葉情報をツイッターで発信していた効果もあり、多くの方が楽しみに待ち、点灯時は感嘆の声が上がりました。当日は**長岡安平をテーマにした青山公園主催「冬の公園ウォーキング2021」のゴールに設定**し、完歩した参加者に安平の傑作と紅葉・夜景のコラボを堪能していただきました。



都心でも土星やアンドロメダ銀河が見えたよ！



来園できなかった方には翌日のツイッターでご紹介

地域連携による安全対策

事業計画 No.3-②-72、様式4-都-3／評価区分 30



愛宕警察と連携したテロ対策・防犯活動

愛宕警察と連携し、テロ対策およびドローン使用者への指導方法等について職員が講習を受けました。園内で不審者や不審物を発見した際の対応については、実演を交えた専門的見地からのレクチャーを受けることで、園内における安全確保に関する職員の意識はさらに高まりました。



新たなパークビューの誕生「おもてなしの庭」

事業計画 No.3-②-61、62、116、③-1、23、29 No.4-自-4/評価区分 21



造園連とタッグを組んだ「おもてなし」

東京2020大会により国内外から訪れる方に日本らしさと造園技術をご覧いただけるよう（一社）日本造園組合連合会が受賞した「おもてなしの庭」部門大賞プランを園内に再現しました。直営で周辺樹木の手入れやきめ細やかな日常管理を行い、より一層景観を引き立たせ、**都心に和の空間を創出**しました。



市松模様の敷石、竹垣など随所に造園の匠の技が光ります

芝公園の新たな名所としての積極的なPR

より多くの方に楽しんでいただくため、**ツイッターにて「おもてなしの庭」シリーズを発信**し、計435のいいね！を獲得したほか、**発行部数12万部の港区コミュニティ情報誌『キスポーツ』の一面を飾りました**。さらに、1月にはライトアップにより**夜間のSNS映えスポット**として新たな切り口で魅力を発信しました。



芝公園の新たな名所としてツイッター・情報誌で魅力発信

オンラインで公園の魅力発信

事業計画 No.3-②-12、79、87、No.4-イ-1、2/評価区分 20



ボランティアとの連携によるセルフガイドの充実

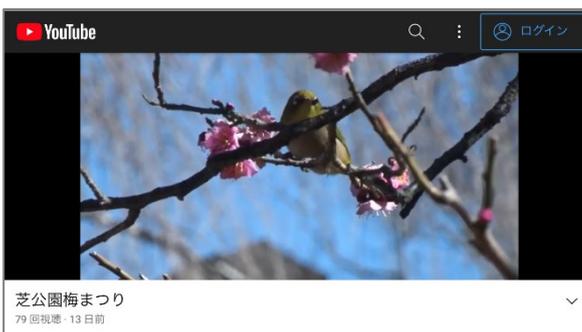
集合形式でのイベント開催が難しい中、ガイドボランティア「芝の語り部」との協働でガイドルートマップを制作し、来園者に**セルフガイドツール**として提供しました。マップはホームページからダウンロード可能にし、あわせて見どころを紹介する動画を公開しました。時と場所を選ばずに参加できるセルフガイドは、より多くの方に芝公園の魅力をお届けすることができました。

オンラインで梅と古墳めぐり「歴史ガイドツアー」

2月の「梅まつり」は従来型のイベントとしての実施は叶いませんでしたが、共催者の（公財）港区スポーツふれあい文化健康財団とともに、密を避けて芝公園を楽しめる企画として、動画を制作してYouTubeで配信しました。銀世界の梅林から芝丸山古墳へ、早春の見どころと歴史を感じながら芝公園を散策する気分を味わっていただけました。



「芝の語り部」のご案内がセルフで楽しめます



YouTubeで幅広い層に芝公園の見どころをお届け

青山公園

所在地：港区／開園面積：4.00ha



みんなの笑顔があふれる
都会の緑のオアシス

地域との連携による公園の魅力アップ

事業計画 No.3-②-36、83、117、3-③-10、11、21、98、101、No.4-自-2／評価区分 20



南地区トイレのプチ・リノベーション

令和2年度の「50周年記念事業」に続き利用者の声を反映させ、南地区トイレとその周辺を整備しました。建物横におしゃれなロックガーデンを設置し、壁の塗装や照明器具の交換を行い、格子柵で個室の安全確保、新たに設置した壁面緑化装置は近隣の保育園児とともに花苗の植付けを行いました。パークミーティングで近隣の方のご意見を聞きながら、**大規模な改修でなくとも、指定管理者の取組みとして、明るく利用しやすいトイレにリニューアルし、利便性を向上させました。**これまで問題になっていた**喫煙や吸殻のポイ捨てがなくなり、園内に活気が溢れ、安心・安全な環境を提供することができました。**



まるで新築?! ビフォー&アフター

子ども達と一緒に公園をお花いっぱい

コロナ禍で昨年度は活動を控えていた近隣保育園に再びお声をかけ、チルドレン花壇でのチューリップの球根植付けや、南地区トイレの壁面緑化にご協力いただきました。子ども達の花育を推進し、開花時期に花の絵を描きに来ていただくなど、**再来園の動機づけと公園への愛着醸成を図ることができました。**



花壇も、トイレの壁面緑化も、小さなおもだちが大活躍

東京2020大会成功に向けての協力

事業計画 No.3-②-26／評価区分 32



南地区多目的広場に臨時駐車場開設

東京都からの要請を受け、南地区の多目的広場を東京2020大会関係者用の臨時駐車場として提供しました。広場は子ども達の利用が多いため、事前の周知と丁寧なご案内により苦情やトラブルを防ぎました。



安全な設営作業、利用者への事前説明で事故・トラブルを防止

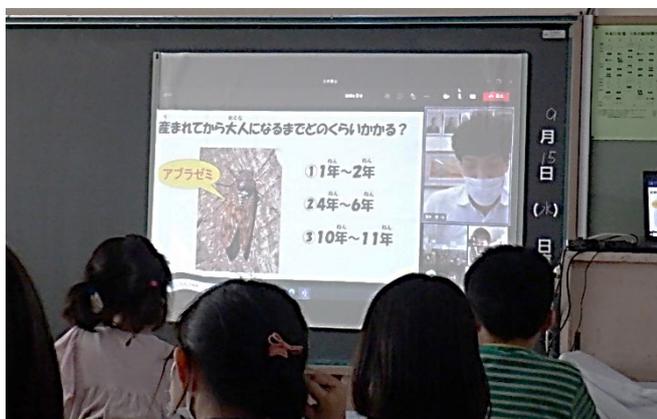
コロナ禍でもみんなが元気になるイベントの開催

事業計画 No.3-②-88、98、様式4-イ-1、自-1/評価区分 6、23



小学校でのオンライン自然観察会

長年東急建設(株)との連携で好評を頂いている公園内での観察会に代えて、青南小学校内にてオンライン自然観察会を行いました。緊急事態宣言で選択登校制の中、**教室と自宅いずれも同じ内容が聞けるハイブリッド授業**を新たな手法として提案し、大変喜ばれました。また、学校で学ぶ理科(生物)を補足する楽しい体験学習として、身近な都会の公園に生息する小さな生きものへの知識や好奇心を深めていただきました。



教室でも自宅でも同じ授業が受けられました

紅葉見ごろの公園を結ぶウォーキング

ウォーキング協会と連携し、昨年度再生した芝公園の「もみじ谷」にちなみ、設計者の長岡安平が眠る青山霊園をスタート、都心の紅葉を楽しみながら、芝公園の新名所「おもてなしの庭」を経て、もみじ谷にゴールしました。参加者全員が完歩できた喜びと美しい紅葉への感嘆の声が上がる中、日没後にもみじ谷のライトアップも行われ、**都立公園相互の魅力発信**につなげることができました。



ゴールは長岡安平の傑作・紅葉が見ごろのもみじ谷

子ども達にいざという時の備えを・防災の取組

事業計画 No.3-①-16、②-74、113、様式4-都-2、自-3/評価区分 13



クイズで楽しく防災啓発

9月の防災の日にあわせて開催していた公園内での防災フェスタは緊急事態宣言中のため中止し、近隣の2保育園に「**キッズ防災クイズ**」を配布し、クイズを解きながら楽しく防災への関心を高めていただきました。参加賞として「防災ポケットガイド」を贈り、**自宅で家族と防災について話すきっかけを提供**し、防災意識の向上を図ることができました。



キッズ防災クイズ 全問正解できるかな?

消防署・保育園等と連携した防災訓練

コロナ禍であっても災害への備えは必要との思いで地域が一致団結し、赤坂消防署、消防団、港区、青山一丁目町会、近隣保育園5園との連携で行いました。前は参加者が多く全員が体験できなかったことを省みて、**参加人数の制限と余裕を持ったタイムテーブル**により、全員が起震車等を体験でき、楽しみながら防災への啓発を行うことができました。



はじめて起震車が来た!

林試の森公園

所在地：目黒区、品川区／開園面積：12.07ha

緑と水と笑顔あふれる
都会の森の博物館



あつまれ！林試の森 みんなでつくる公園

事業計画No.3-②-38、64、84、110、117、③-10、11、No.4-都-1、自-2、3／評価区分22、23、30



プチボラの発展形 マナーアップガイド

コロナ禍で公園利用者が激増し、ルールの周知に苦慮している中、近隣住民からマナー啓発への協力の提案を受け、新たな**プチボラメニュー**として「**マナーアップガイド**」を開始しました。職員と共に園内を巡回し、お声がけをすることで、啓発の効果が格段に高まり、苦情要望は**前年比24%減少**しました。



ワンちゃんも一緒にマナー向上を呼び掛けます

利用者の思いをつなぐパークミーティング

公園からの声かけで新たに3団体を加え、計11団体で意見交換を実施しました。今後のイベントや地域連携、北側園地整備等について情報共有をしつつ、利用者や近隣住民の意見を広く集めました。公園が中心となって、**東京都と公園利用者・近隣住民をつなぐ機会**を提供することができました。



皆さんの声や知恵を集めてよりよい公園にしていきたいと思います！

出合いの広場をみんなの力でお花いっぱい

出合いの広場の花壇は、球根植えに**近隣保育園3園**、花壇づくりや花苗植え、装飾の石のペイント等に**めぐろパパネットワーク**のほか、個人参加の**プチボラ**もあわせて**のべ131人**が協力して作りあげています。学校団体には落葉清掃と腐葉土作り、装飾用の石収集作業にご協力いただき、**園内美化**とともに**公園を中心とした地域コミュニティの形成**につなげました。



みんなが出会い、輪が広がる公園で花を咲かせよう！

アジサイのリースで新たなニーズをキャッチ！

例年集合型で行ってきた発生材ワークショップを職員のアイデアで一新し、**長期間+個別対応型**で開催し、**プチボラ活動で剪定したアジサイ**を活用しました。**男性一人でも気兼ねなく参加**ができ、材料を持ち帰って自宅での制作を可能とすることで「**おうち時間**」の**充実を図る**など、新たなニーズを捉え、コロナ禍における新たなイベント開催方式として大変好評でした。



きれいなアジサイを使ったリースは老若男女みんなに大人気

安心安全な利用環境の提供

事業計画 No.3-②-114、③-4、62、No.4-自-4／評価区分2、14



安心・安全な空間で復活！ジャブジャブ池

コロナ禍と利用者激増双方への対策として、**初めてウェブサイトによる完全予約制、人数上限制、閉鎖管理方式によりジャブジャブ池を開放しました。**安全・防犯面の向上を図ることができ、利用者から「適度な空間で安心して遊べました」と大変好評でした。開催中は事故やトラブルも一切なく、コロナ禍の不安を少し和らげるような「心のオアシス」を提供することができました。



入口で検温・消毒、安心してジャブジャブ池を楽しめました

利用者の声を反映させた遊具の安全確保

日々利用者とコミュニケーションを図り、声を聴くことで園内状況の把握に努めていますが、複合遊具の対象年齢について幅があることを踏まえ、幼児の転落を防ぐための細かい網目のネットを追加設置しました。事故を未然に防ぎ、安心安全で快適な環境を提供できました。



都会の自然をみんなに伝えたい！生物多様性の啓発

事業計画No.3-②-91、16、88、No.4-イ-6、7／評価区分20



高校生のフィールドワークの成果をお披露目

攻玉社高等学校生物部と協働し、公園に生息している昆虫等の調査報告を**企画展示として公開**しました。幅広い世代の方の関心を集める取組となり、地域団体との連携や公園の新たな魅力を発信することができました。

身近な学びの場・林試の森SDGsパーク

新たに品川区立後地小学校と連携して園内清掃を行い、回収した落葉が腐葉土になる過程を解説しました。次世代を担う子ども達が身近な公園の自然に親しみつつ、**社会参加とSDGsについて学ぶ場を提供**しました。



地域と連携した防災対応力の向上

事業計画No.3-②-74、4-都-4／評価区分13



起震車がはじめてやって来る！林試の森公園防災訓練

目黒区・目黒警察署との連携した**初の**防災訓練を開催しました。近隣の保育園3園、東京インドネシア共和国学校、インターナショナルスクールから**230人の参加が実現**しました。「震災にあったらどうしたらよいか」をテーマに、**公園が訓練計画を策定し、初の起震車体験、防災トイレ展示、園内の防災施設紹介等の充実した内容で、特に海外出身者は防災訓練が初めての体験で大変喜ばれました。**

目黒消防署とはさらに連携を強化し、**誰でも参加できる初期消火訓練を毎週実施し、のべ170人が参加**しました。地域の防災拠点となる公園が中心となり、利用者の防災意識の向上や、防災対応力のさらなる向上に貢献できました。



蘆花恒春園

所在地：世田谷区／開園面積：8.03ha

武蔵野の面影をしのぶ
文豪徳富蘆花ゆかりの公園



地域連携で伝える公園の魅力

事業計画 No.3-②-99、115 No.4-自-2、3／評価区分 23



粕谷児童館と連携 スポーツチャレンジデー

多目的広場にて竹馬や中国独楽などを使った外遊びを体験していただきました。児童館職員の手ほどきにより、子ども達に外で体を動かすことの楽しさを伝えることができました。世帯数の多い世田谷区の地域特性を踏まえ、近隣施設と連携して子ども向けのイベントを実施することで、**地域交流の活性化につながり、粕谷地域の魅力を伝えることができました。**



児童館職員が中国独楽の手ほどき

徳富蘆花旧宅を活用 かやぶき屋根のお話会

粕谷図書館および園内にある**芦花の丘かたるば保育園**と連携して、徳富蘆花旧宅にて乳幼児連れを対象とした紙芝居の読み聞かせや手遊び、パネルシアターを実施しました。**子育て世代に文化財を有する公園としての魅力をPR**することができ、参加者同士の交流の場となり、**平日の利用促進と文化財の活用**につなげることができました。



畳の上でリラックスしながら保育士による紙芝居を楽しみました

コロナ禍における防災対応力の向上

事業計画 No.3-②-74 No.4-都-6／評価区分 13



ペット防災と発電体験

蘆花恒春園ワンクラブと連携してペット用防災用品の展示、ペダル式発電機を使った発電体験を実施しました。集合形式の訓練は控えましたが、防災意識の向上を図ることができました。



SNSを活用した企画展と自然ガイドの開催

事業計画 No.3-②-95、92 No.4-イ-3、6/評価区分 6、20



ツイッターを活用した蘆花記念館 「オンライン企画展」

蘆花記念館所蔵の資料を取り上げ、ツイッターの動画機能を活用した「**オンライン企画展**」として開催し、のべ2,963回再生されました。コロナ禍により外出を自粛する方が多い中、ツイッターで気軽にご覧いただくことで、多くの方に徳富蘆花や蘆花恒春園について紹介し、興味を持っていただけました。配信後、ツイッターを見て来園したという声も聞かれ、新たな利用者獲得につながりました。また、企画展を通じて**新たに島崎藤村記念館や江戸東京博物館、小田原市立図書館などとも連携**することができました。

公園での観察会とオンラインを併用した 自然ガイド「野草観察会」

夫妻の墓所に自生するホウチャクソウとワニグチソウの見ごろに合わせて観察会を開催しました。緊急事態宣言中のため、徳富蘆花旧宅内でのパネル展示、巡回時に野草ガイド冊子を配布して開花場所を案内する簡易ガイドとして実施しました。参加者へのアンケートでは、**全員が「面白かった」、8割が「また参加したい」と回答**するなど高い評価を頂きました。さらに**ツイッターでもパネル展示の内容を発信**することで、参加できなかった方にも園内に自生する希少植物等について紹介し、興味を持っていただけました。



「蘆花の描いた絵」、シリーズ「蘆花宛ての手紙」を配信



旧宅内のパネル展示 ツイッターでも紹介し好評でした

蘆花が愛した雑木林を後世につなぐ取組

事業計画 No.3-③-36/評価区分 5



ナラ枯れ対策と後継樹の育成

蘆花夫妻が眠る墓所や開放公園区域にもコナラ・クヌギ等にカシノナガキクイムシによる被害が目立つようになりました。樹木医の診断と助言を受けながら、昨年度に引き続き健全木にラップを巻いて虫の侵入を防除しました。また、ナラ枯れの被害が深刻な箇所については、今年度は**新たにクヌギ・コナラの実生木を育成し、後継樹として補植**を行い、蘆花が愛した武蔵野の雑木林を後世につなぐ取組を推進しました。



夫妻の墓所 実生木から後継樹を育成、伐採跡に補植しています

祖師谷公園

所在地：世田谷区／開園面積：9.33ha



地域とともに生きる 「ホームパーク」

人と、自然とふれあうイベントで笑顔いっぱい

事業計画 No.3-②-110、111、124、③-10、11 No.4-自-1、2／評価区分23



公園・ボランティア・保育園が協力して、公園をお花でいっぱいに

新たな保育園が参加し、今回初の試みとなる花壇ボランティアの指導の下で、保育園児が「たねだんご」作りと植え付けを行いました。楽しみながら「花育」活動ができる場を提供し、次世代を担う子ども達の情操教育に貢献できました。イベントにあわせて園児が安全に活動できるよう、直営にてチルドレン花壇をリニューアルした結果、景観が向上し公園の魅力アップにも繋がりました。また、公園がコーディネートすることでボランティア・保育園との連携を強化し、公園への愛着醸成と地域コミュニティの活性化にも寄与できました。



土を丸めて種と肥料をつけて、「たねだんご」楽しいね！



リニューアルしたチルドレン花壇 うまく植えられるかな？

公園の自然素材で季節を彩るワークショップ

花壇ボランティアの協力により、ドライフラワーや木の実等を活用した「クリスマスリース作り」は、お子様から年輩の方まで楽しんでいただき、公園の豊かな自然を紹介することができました。また、老人ホーム等の福祉施設にリースを寄贈、コロナ禍でも季節や人とのつながりを感じ、気持ちが明るくなると大変好評を頂き、地域貢献にも繋げることができました。



福祉施設に大型クリスマスリースをプレゼント

第2弾として初の試みとなる「正月飾り作り」を開催しました。水引の輪を作るところからボランティアが丁寧に手ほどきし、和の文化に触れる貴重な体験を提供することができました。



ボランティアが講師として大活躍
初めての正月飾り作りも大盛況

地域一体となって子ども達を見守る 防災教育

事業計画 No.3-②-74 No.4-都-4/評価区分22



近隣小学校への出張授業

初の試みとして世田谷区青少年委員と連携し、千歳小学校3年生130名を対象とした総合的な学習の講師として赴き、防災レクチャーを行いました。公園の防災施設や震災が起きた時の行動、普段からの備え等についてパネルを用いて説明しました。関東で大きな地震が発生した直後のタイムリーな内容で臨場感もあり、**地域の防災対応力の向上**に繋がりました。他にも児童館や近隣住民等が地域の歴史・昔遊び・生き物・イベント等の講義を行い、地域の交流の活性化、**地域が一体となって子ども達の成長を見守る**環境づくりにも貢献することができました。



メモを取りながら熱心に聞く児童たち
質疑応答も活発に行われました

利用マナー向上・夜間の安全・苦情ゼロを目指して

事業計画 3-②-41、42、45、66、70、87/評価区分1



スケートボードの利用適正化

夜間の騒音等が問題となっていたエントランス広場のスケボー利用について、東京都、近隣住民、スケボー愛好者との意見交換を経て、**利用時間を9時～17時に変更**しました（変更前は20時まで）。事前の周知、職員による重点パトロール、防犯カメラにより夜間の状況を把握することで、**不適正利用や苦情をゼロに抑え**ました。また、利用時間変更についてのご意見を**45件**頂きましたが、一人一人に丁寧に対応することでご理解いただきました。現在、月に一度スケボー愛好者と協働で園内清掃活動を行い、**利用者・近隣住民との良好な関係**を築いています。



スケボー愛好者代表との意見交換会



職員による夜間重点パトロールを実施



スケボー愛好者と共に園内の清掃活動

安全性を重視した整備と景観美の創出

事業計画 No.3-③-1、23/評価区分 3、14



直営による迅速な補修

日頃の巡回により危険な箇所を発見した際はすぐに補修を行い、利用者の安全を確保しました。作業にあたっては**公園らしい景観美を創出**することに留意しています。近隣住民や花壇ボランティアから「歩きやすくなりましたね」と好評を頂きました。



花壇と園路を仕切る柵は竹と木材を使用して自然な雰囲気かつ頑丈に仕上げました



駐車場横入口のスロープはタイル欠損部をモルタルで補修、雨水を浸透する防草土で水たまりを解消



日比谷公園 大音楽堂

所在地：千代田区／敷地面積：0.57ha



多くのアーティストたちが様々な世界観をつくりあげ披露する
聖地・殿堂「日比谷野音」

コロナ禍における「日比谷音楽祭2021」の開催

事業計画 No.3-②-102 No.4-自-1／評価区分 22



無観客生配信でのオンライン開催とその反響

「日比谷音楽祭2021」は、長引く新型コロナウイルスの影響を勘案し、当初より**動画配信を同時に行う等「ハイブリッド開催」**での企画を進めていたことで、事業の変更・縮小は余儀なくされたものの、5月29日(土)・30日(日)の2日間にわたり**無観客のオンラインによる生配信にて、安全・安心なイベントとして実施**することができました。

配信は動画配信サービスU-NEXTを通じて、今回も様々な世代やジャンルの一流アーティストによるパフォーマンスを繰り広げた大音楽堂をはじめ、小音楽堂や第二花壇、そして東京ミッドタウン日比谷においても無観客にて実施したコンサート等各ステージの様を生配信したとともに、事前に収録したトークショーやワークショップなども併せて配信しました。その結果、**2日間で視聴者数15万人、総再生回数51万7千回**という生配信ライブではU-NEXT始まって以来の最高値の視聴となりました。翌日の情報番組等TVや新聞、WEB等でも多数取り上げられたことにより、日比谷音楽祭はもとより、**日比谷公園と野外大音楽堂のPR並びに魅力の向上にも繋げる**ことができました。

また、緊急事態宣言下での開催を考慮し、出演者やスタッフ等関係者には毎日抗原検査を実施するとともに、無観客でのイベント対応として会場周辺の囲い(目隠し)や、外聞きの懸念に対しても事前の告知並びに当日も警備員による声掛けなど適切な対応により、園内の安全を確保する等**コロナ禍における公園内でのモデルとなるようなイベント**として実施することができました。



YAON(大音楽堂)
Hibiya Dream Session 1



YAON(大音楽堂)
Hibiya Dream Session 2



YAON(大音楽堂)
Hibiya Dream Session 3

初の「日比谷野音オープンデー」開催

事業計画 No.3-②-49、78 No.4-イ-1／評価区分 19



「あこがれの場」である大音楽堂を無料開放

新型コロナウイルスの影響により昨年中止となった「日比谷野音オープンデー」について、緊急事態宣言等が解除されたことを受けて、11月14日(日)に実施しました。当日は晴天の中、万全なコロナ対策を施した上で、①バックステージの案内や②アトラクションとしてマリンバ、パーカッションのミニコンサート③大音楽堂の約100年の歴史をパネル等で紹介しました。また、今回のオープンデーは初めての開催であることから、日比谷公園と連携し「HIBIYA PARK SHIBAFU TERRACE」および近隣駅などに協力依頼の上、チラシ設置を行うなどのイベントの周知等図ったことや当日の来園者への呼びかけや来場者のSNS発信効果等により、**当初の計画であった300人を大幅に上回る約1,000人の来場者があったことで、施設のPRと魅力の向上に繋げる**ことができました。



アトラクションで賑わう
オープンデー



パネル展示を鑑賞する
来場者

適切な管理の履行

事業計画 No.3-③-4、104 / 評価区分 2、11



来場者の安全確保

観客席下手トイレスロープの劣化や段差が生じたため、事故の未然防止を図る目的で、目地及び鋼板設置の補修工事を施し来場者の安全を確保しました。



鋼板設置

利用者サービスの向上

利用者要望を踏まえて、新たによりわかりやすい座席案内表示板を設置する等視認性を格段にアップしたことで利用者サービスの向上を図りました。



座席案内板設置

広報・PR等の取組み

事業計画 No.3-②-36 / 評価区分 20



顧客満足度調査の結果を踏まえて、日比谷野音ホームページの全面リニューアルを実施し、レイアウト変更による見やすさやスマホ対応を施すなど利用者サービスの向上を図りました。また、音楽番組「テレビ朝日の関ジャム」、クイズ番組「TBSテレビの東大王」「フジテレビのネプリーグ」にて、かつての野音における音楽を題材とした問題への協力や日本経済新聞社への取材協力等メディアを通して施設のPRに繋げることができました。



刷新した野音HP

東京2020大会に関連したイベント開催への協力

事業計画 No.3-②-100、101 / 評価区分 30



コロナ禍における東京2020大会オリパラ気運醸成イベント

1年延期された東京2020大会オリパラ気運醸成イベントについては、今年もコロナ禍での開催となったことにより、各地でやむなく開催中止になってしまった数十団体の催事を急遽、野音に集結させて7月下旬から8月上旬に実施された「文化・国際交流発信コンテンツ」の公演等対応が目まぐるしく変化しましたが、東京都の担当部局と密に連携を取りながら、万全なコロナ対策のもと適時適切に対応したことで、無事故にて無観客の収録・配信に協力することができました。



東京2020看板・のぼり

都からの要請への協力・対応

事業計画 No.3-③-92 / 評価区分 31



音楽会利用可能日の拡大試行実施への対応

老朽化が進んでいる施設の再整備を見据える中で、大音楽堂のさらなる利用促進を図るため、現在4月から10月までに限定されている音楽会の利用につき、令和4年度より11月から3月の間においても利用可能とする通年利用への拡大試行実施について全面的に協力しました。HPを通じての告知をはじめ常連主催者等への周知を積極的に行った結果、予想を超える申し込みにより、ほぼ令和4年度の11月から3月の土日祝祭日は予約で埋まりました。

音量調査の実施と平日コンサートの試行実施に向けた対応

東京都では、音楽会の通年利用への試行実施と併せて、令和4年度に計画している平日コンサートの試行実施に向けた取り組みとして、2月26日(土)に音量調査を実施しました。当調査に当たっては、計画段階より都と連携の上、調査会社との事前打ち合わせや現場対応並びに近隣施設への説明等、都の取り組みに関して積極的に協力しました。



音量調査の実施状況